

SKGP2021 競技規則

笹谷部

SKGP2021 競技規則

本大会は、ルールとマナーを厳守し“安全性”を最優先とする。また、本大会はモーターレクリエーションを楽しむと同時に運転技術の向上を図り、明るいスポーツマンシップを養成し健全な交通社会人を育成すると共に、部員間の親睦を深めることを目的として開催する。この競技規定は SKGP'21 の開催および運営を公正かつ円滑に行うために定められたものである。選手各位はこれを熟読の上、競技時にはスポーツマンシップに則り競技規定を遵守するよう望まれる。

1. 大会名称
SKGP2021 第14回笹谷部カートグランプリ
2. 主催者の名称
笹谷部
代表者:熊谷雄一
3. 競技会場
アトムサーキット(宮城県東松島市大塩山崎9-1) 長さ:だいたい 458m
4. 開催日
2021年8月13日(金)12時30分開会
5. 参加申し込み
8月2日までに主催者に連絡すること。参加料の支払いをもって正式申込とする。
6. 参加料
全クラス1人12,000円
7. ドライバーの参加資格
笹谷部員または部員紹介を受けた者であり、なおかつアトムサーキットレンタルカート乗車規定を満たす者。5年以内にJAF制限付格式以上のカートレース、またはアトムサーキットスプリントレース1クラス、1.5クラスに出走経験のある者は資格を満たさないものとする。
8. 競技車両
アトムサーキットでレンタルカートとして貸し出されるBタイプレンタルカートを使用する。ワンメイクレースである。ペダル位置調整やクッション等による乗車位置調整以外のカートへの一切の改造は認められない。スタッフにより走行に支障があると認められた場合のみ、カートの調整・交換を許可する。練習走行、スーパーラップ予選を除く予選走行、決勝レースで使用されるカートについては、セッション前にくじ引きを行い、くじに記載された車番のカートを使用する。スーパーラップ予選に使用するカートは、主催者がランダムで決定した複数台を交互に使用する。
またカートには若干の誤差があり、状況に応じて性能調整が行われることを理解すること。
9. 競技者の装備
ヘルメット・グローブ・長袖長ズボン・運転に適した靴の着用を義務付ける。腕まくりを含めて、カート乗車中に不正に肌が露出する状態になることは禁止する。
(ア) ヘルメットに関してはJISまたはSGマークの付いたフルフェイスヘルメットに限る。
目を覆うシールド、またはゴーグルやバイザーが使用可能になっていること。
(イ) グローブに関しては全指の布または皮製グローブとする。強度が不足していると主催者が判断したものは使用できない。
(ウ) 衣服はバタつかず、通気性の良いものを推奨する。車体回転部に巻き付く恐れのある装備の着用は禁止する。頭髪が長い場合は束ねるなどし、車体回転部に巻きつかないように十分注意すること。
(エ) 底の厚い靴や下駄、サンダルなどを履いての乗車は認めない。
(オ) ヘルメット・グローブに関しては会場のレンタル品を使用することを認める。
(カ) 装備に関しては、申込時に主催者にレンタルの有無を申告すること。
10. 走行に関する共通事項
(ア) コースの走行順路は遵守すること。いかなる場合でも逆走してはならない。また急激な進路の変更など重大な事故を招く恐れのある走行は厳に慎むこと。
(イ) コース外に車両が飛び出した場合やコース内での方向転換が困難な場合、周囲の安全の確認した上で車両から降り、バンパーやフレームを保持し方向転換や移動を行うこと。グラベル内での無理な走行はカート故障の原因となるため絶対に避けること。
(ウ) コース内外でカートの故障などにより走行不能となった場合は両手を上げ、オフィシャルの到着を待つこと。カートに乗車したままでは危険が及ぶ場合は速やかに退避し、クラッシュパッドの外などの安全な場所にて待機すること。
(エ) ピットアウトの際は右手を上げて後方を確認した後、コースインすること。ピットイン時は最終コーナー前に左側に寄って挙手し意思表示をしたうえで、ピットロードに入ること。

11. 開催クラス

スプリントレースはフリー走行 2 回目及び予選タイムにより各選手を以下のクラスに振り分け、決勝を行うものとする。
また参加者数に応じて、クラス数の増加や振り分けを変更する場合がある。

- (ア) GACHI クラス(スーパーラップ予選 1～8 位)
- (イ) ささ子クラス(スーパーラップ予選 9～16 位)
- (ウ) アイ研課クラス(フリー走行 17～24 位、B 予選 1～8 位)
- (エ) 漢劇クラス(フリー走行 25 位～、B 予選 9 位～)

12. GACHI クラス走行内容

GACHI クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ フリー走行(約 7 分×2)
- ・ 予選(スーパーラップ計測 2 周)
- ・ 決勝(20 周)

12-1. GACHI クラス競技補足

- ・ 全参加者のフリー走行 2 回目のタイムを集計し、順位が 16 位以内かつ、スーパーラップ予選で 1～8 位の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ フリー走行の組分けは昨年大会成績や走行会等のタイムにより、主催者が行う。
- ・ 決勝のグリッド順は予選走行でのタイムを採用する。

13. ささ子クラス走行内容

ささ子クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ フリー走行(約 7 分×2)
- ・ 予選(スーパーラップ計測 2 周)
- ・ 決勝(18 周)

13-1. ささ子クラス競技補足

- ・ 全参加者のフリー走行 2 回目のタイムを集計し、順位が 16 位以内かつ、スーパーラップ予選で 9～16 位の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ フリー走行の組分けは昨年大会成績や走行会等のタイムにより、主催者が行う。
- ・ 決勝のグリッド順は予選走行でのタイムを採用する。

14. アイ研課クラス走行内容

アイ研課クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ フリー走行(約 7 分×2)
- ・ 予選(スーパーラップ計測 2 周)
- ・ 決勝(16 周)

14-1. アイ研課クラス競技補足

- ・ 全参加者のフリー走行 2 回目のタイムを集計し、順位が 17 位以下かつ、予選で 1～8 位の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ フリー走行の組分けは昨年大会成績や走行会等のタイムにより、主催者が行う。
- ・ 決勝のグリッド順は B 予選でのタイムを採用する。

15. 漢劇クラス走行内容

漢劇クラスの走行内容は以下の通り。

- ・ フリー走行(約 7 分×2)
- ・ 予選(10 分)
- ・ 決勝(16 周)

15-1. 漢劇クラス競技補足

- ・ 全参加者のフリー走行 2 回目のタイムを集計し、順位が 17 位以下かつ、予選で 9 位以下の選手が参加する決勝レースである。
- ・ 参加者による参加クラスの指定はできない。
- ・ フリー走行の組分けは昨年大会成績や走行会等のタイムにより、主催者が行う。
- ・ 決勝のグリッド順は B 予選でのタイムを採用する。

16. フリー走行

練習走行として、各選手は約7分間のフリー走行を2回行うものとする。

(ア) フリー走行のグループ分け

フリー走行は全選手をA～Dの4グループに分割してグループ分けを行う。各グループの選手数が同数とならない場合、最も少ない選手数のグループより1人ずつ多くなることを認める。フリー走行の組分けは過去の大会成績や他競技での実績、カート走行経験数等により、主催者が行う。

(イ) グループ分けの発表時間と抗議、変更

フリー走行のグループ分けは、当日の参加受付時に発表される。この際、各選手1回に限り自らのグループ位置について主催者に対し口頭で抗議をすることができる。それによりグループ分けの変更がなされた場合、最初のグループのフリー走行15分前に、主催者は訂正した走行グループを発表しなければならない。また、それ以降の抗議、グループ変更は一切認めないものとする。

17. スーパーラップ予選(GACHIクラス・アイ研課クラス)

スーパーラップ予選はフリー走行2回目のタイムが1～16位までの選手が参加する予選で、各選手2周のスーパーラップ方式でのタイムアタックにて行われる。

(ア) タイムアタック方式

規定された走行順によって指定された選手が2周の計測走行を行い、各選手が出したベストタイムを予選タイムとする。

(イ) 走行選手と走行順

スーパーラップ予選は練習走行のタイムの遅かった選手から順に行う。また、2名または数名の選手が同一タイムを達成した場合は、フリー走行1回目のタイムが遅かった選手が先に計測を行うこととする。

(ウ) 規定時間

予選走行で計測を行う周回数は各選手2周である。ピットロード出口を通過しコース上に出て、最初にコントロールラインを通過した瞬間を計測の開始とする。3回目にコントロールラインを通過した瞬間をもって、計測終了とする。その際、コントロールライン上でチェッカーフラッグを振動表示する。チェッカーフラッグが振動表示されたコントロールラインを通過した瞬間以降、次の選手がピットロード出口を通過しコース上に出ることができる。また、予選走行をする選手の過失でないトラブルによって計測ができなかった場合、すべての選手の計測が終わった後に再度計測を行うものとする。

(エ) 記録

予選走行の記録は規定周回内で記録したラップタイムのうち、最も速いラップタイムを採用することとする。

(オ) クラス分け

スーパーラップ予選のタイムが上位8名の選手は、GACHIクラス決勝へ出走することが出来る。下位8名の選手は、ささ子クラス決勝へ出走することが出来る。スーパーラップ予選において2名または数名の選手が同一タイムを達成した場合は、セカンドベストタイムの速かった選手が優先される。

18. B予選(アイ研課・漢劇クラス)

B予選はフリー走行2回目のタイムが17位以下の選手が参加する予選で、10分間のタイムアタックにて行われる。

(ア) タイムアタック方式

規定された走行クラスによって指定された選手が同時に規定時間の走行を行い、時間内で各選手が出した最も速いラップタイムをB予選タイムとする。

(イ) 走行グループ

B予選における走行はフリー走行2回目のタイムが17位～24位の選手と25位以下の選手に分けて走行するものとする。

(ウ) 規定時間

B予選における走行の規定時間は各クラス10分である。コントロールタワーから予選走行時間開始の合図が出た瞬間を規定時間の開始とする。それより10分間の経過の後、コントロールライン上でチェッカーフラッグを振動表示する。チェッカーフラッグが表示されたコントロールライン上を通過した瞬間をもって、その選手の予選時間の終了とする。何らかの理由により規定時間以降も周回を行った場合は、時間内に記録したラップタイムのなかで出された最も速いものを記録として採用する。また、予選走行をする選手の過失でないトラブルがコース上で発生し、赤旗による中断となった場合の処置については、主催者ならびにオフィシャルの判断に委ねるものとする。

(エ) 記録

B予選走行の記録は規定時間内で記録したラップタイムのうち、最も速いラップタイムを採用することとする。

(オ) クラス分け

B 予選のタイムが上位 8 名の選手はアイ研課クラス決勝への参加となる。予選のタイム 9 位以下の選手は漢劇クラス決勝への参加となる。同タイムを記録した選手については、競技規定 17.(オ)に準ずる。スーパーラップ予選を走行する選手とのクラスの入替は行わない。

19. スタートグリッド及びスタート手順

(ア) グリッド

- A) グリッドはアトムサーキットオレンジグリッドボックスを採用し、予選中に達成されたベストタイム順の 2 列とする。2 台または数台の車両が同一タイムを達成した場合は、フリー走行 2 回目のタイムが速かった車両を優先する。
- B) スタート方法は日章旗によるスタンディングスタートとする。

(イ) スタート手順

- A) スタート進行はスタートまで 1 分前、30 秒前のボードが表示される。
- B) グリッドに整列した選手はエンジンを切り、待機すること。
- C) 1 分前ボードが提示される前に選手紹介が行われる。自分の名前が呼ばれたら元気よくアピールすること。
- D) 1 分前ボードが提示された後、ドライバーはエンジンを始動させること。また、ドライバー及びオフィシャルを除き全員グリッドから退去すること。
- E) スタート合図はスターターの日章旗によって行われる。30 秒前ボードが提示された後、日章旗が両手持ちで掲示される。日章旗から片手が離れた瞬間、レースがスタートする。
- F) 何らかの理由によりスタートが不可能と判断した場合は、コントロールライン上で赤旗を掲示し、スタートを延期する。

20. ペナルティ・オレンジボール・イエローフラッグ

- (ア) 反則スタート、悪質なブロッキング、プッシング、重大な危険走行等の違反等に対し、黒旗と当該車両のゼッケンボードがコントロールライン上で提示される。また、ペナルティの場合は違反の軽重により、原則として 1~60 秒間のペナルティストップまたは周回数減算のペナルティとなる。ペナルティストップ終了後はレースに復帰できる。
- (イ) ペナルティの黒旗を 3 周以上無視して走行を続けた場合は、当該車両を失格とする。
- (ウ) ペナルティの黒旗を無視したまま 3 周を経過せずチェッカーを受けた場合、周回数減算などのペナルティに切り替える。
- (エ) コース内パイロン等と接触した場合や、通常走行し得ない箇所を走行し有利となった場合、または危険と認められる走行を行った場合、黒白旗と当該車両のゼッケンがコントロールライン上で提示される。再度同様の行為が行われた場合、ペナルティに切り替わる場合がある。
- (オ) 車両に重大なトラブルが発生していると認められる場合、またはドライバーの装備に不備が認められる場合にオレンジボール旗と当該車両のゼッケンがコントロールライン上で提示される。この場合、当該車両はピットに入り、オフィシャルの指示に従わなければならない。
- (カ) コース上危険と認められる状態が確認できる場合、オフィシャルによりイエローフラッグが振動提示される。イエローフラッグはフラッグを提示したオフィシャルの前方に危険があると予告するものであり、危険箇所を通過するまでの区間を追い越し禁止とする。追い越し禁止区間での追い越しはペナルティの対象となる場合がある。オフィシャルはコース上任意の場所に配置される。
- (キ) ペナルティの内容および処遇に関する抗議は受け付けない。

21. レースの中断および再開

- (ア) レースの続行が不可能と判断される重大な事故もしくは、危険な状態がレース中生じた場合には、コントロールライン上またはオフィシャルによって赤旗が掲示されレースは一時中断される。
- (イ) その場合、コース内を走行中のドライバーは安全なスピードを保ちピットに戻る。
- (ウ) 再スタート時のグリッドは赤旗が掲示される 1 周前のコントロールラインの通過順位により決定される。尚、2 周未満で中断した場合は、元のグリッドでスタンディングスタートからやり直しとなるが、周回数は減算される。
- (エ) 競技が正常な状態で進行することが不可能になったとき、セーフティカーの導入により一時非競技化される場合がある。セーフティカーは 2 人乗りカートで「SC」のボードが掲げられたものである。セーフティカーが導入されると、コントロールライン上、オフィシャルによって黄旗が提示され、全ての車両はセーフティカーの後ろに一列となり追い越しは禁止となる。
- (オ) 再開時は、セーフティカーがコースアウトし、コントロールライン上で緑旗が掲示される。その時点で追い越し可能となる。
- (カ) セーフティカー導入中の周回は競技周回として算入される。

22. レース終了

- (ア) レース終了の合図は、トップの車両がコントロールラインを通過する時にコントロールライン上でチェッカーフラッグが振動表示される。

- (イ) 決勝レースの終了は、チェッカーフラッグによりトップのドライバーがゴールした後、2分間が経過した時刻とする。
- (ウ) チェッカーフラッグの表示を受けた後の追い越しは禁止される。

23. 順位決定の必要条件

- (ア) 順位判定は最終周回を完了したのもののみに対して行われる(チェッカー優先)。
- (イ) チェッカーは、本コース上のコントロールライン上のみ受けた事とする。
- (ウ) 優勝者以外の順位は、フィニッシュラインを通過してチェッカーを受けたもので、周回数が多い順に決定され、同一周回数の場合はゴールラインの通過順位による(チェッカー優先)。ただし、走行周回数が優勝車両の走行周回数40%(小数点以下切捨)に達しない車両は順位の認定を受けられない。

24. 参加者の厳守事項

- (ア) 全ての参加者は大会中、大会役員並びに会場スタッフの指示に従わなければならない。
- (イ) 指定された場所以外での喫煙は厳禁とする。
- (ウ) 参加者は、主催者や大会役員及びスタッフ、参加者の名誉を傷つける様な言動はしてはならない。
ただし#ぶちよおは積極的に煽っていい
- (エ) 万一事故その他障害が発生した場合、主催者及び会場は応急処置以外の責任を負わない。
- (オ) 新型コロナウイルス対策として、全ての参加者は高熱や咳、体のだるさなど自らの体調が優れない場合は主催者にその旨を電話、メール、SNS等の方法で申告し医師の診断を受けるとともに、会場へ立ち入ってはならない。主催者は参加者、来場者の別を問わず、必要に応じて検温、体調チェックを行い、その結果によっては退場を命じることができる。また全ての参加者に走行時以外のマスクの着用を義務付け、こまめな手洗い・消毒を強く推奨する。会話の際はできるだけ距離をとり、感染、被感染に十分留意すること。

25. 賞典

GACHIクラス

- ・ 1位・・・トロフィー+副賞
- ・ 2位・・・トロフィー+副賞
- ・ 3位・・・トロフィー+副賞
- ・ 5位・・・副賞(真ん中賞)
- ・ 7位・・・トロフィー+副賞(ブービー賞)
- ・ 決勝レースファステストラップ・・・副賞

ささ子クラス

- ・ 1位・・・表彰楯+副賞
- ・ 2位・・・表彰楯+副賞
- ・ 3位・・・表彰楯+副賞

アイ研課クラス

- ・ 1位・・・表彰楯+副賞
- ・ 2位・・・表彰楯+副賞
- ・ 3位・・・表彰楯+副賞

漢劇クラス

- ・ 1位・・・表彰楯+副賞
- ・ 2位・・・表彰楯+副賞
- ・ 3位・・・表彰楯+副賞

全クラス共通

- ・ 期待の新人賞
- ・ なめてるやつで賞 他

26. 主催者の権限

- ・ レースクイーンへのおさわりは禁止する。記念撮影はレースクイーンが許可した場合のみ可能とする。レースクイーンへのおさわりは禁止する。記念撮影はレースクイーンが許可した場合のみ可能とする。
- ・ 副賞に関しては万全を期するが、万一不都合が発生した場合も主催者は責任を負わない。
- ・ 大会運営にあたり撮影された写真、動画等は今後の笹谷部の活動のために使用される場合がある。
- ・ 本規定に記載外の事項であっても、主催者またはスタッフが危険と判断した場合、走行の中断、参加者の参加資格の剥奪を行うことが出来る。また、主催者またはスタッフが必要と認めた場合、カートの性能調整、競技規定の変更を行うことがある。
- ・ 以上の規則は主催者の権限によって開催前、開催中に変更されることがある。その際には参加者全員が確認できる方法で告知しなければならない。

令和3年1月3日 制定

令和3年5月21日 一部規定を改定

以上